



毎年大盛況の学者村の朝市

# 学者村は20回目 8月7日(土) 楽しさいっぱいの祭り

地元も参加

恒例となりました、学者村まつりもことしは記念すべき第20回目となり、八月七日(土)土曜日に行います。子供みこし、スイカ割大会、かき氷、もちつき大会、屋台などの催し物の他、第20回目にふさわしい物を検討中です。別荘へお越しの皆様さんと、地元町民とのふれあいの場として大切にしていきたいものです。毎年参加して下さる皆さんはもとより、初めての方も大歓迎ですので大勢参加願えれば幸いです。

姫木平朝市 8月1日~22日

美し松まつり 8月12日

第七回美し松まつりは、八月十二日、木曜日の午後四時から八時まで行います。昨年大好評だったラーメンを今年は増量して作りまします。焼きとうもろこし、おでん、わたあめ、もちつき大会でお腹を安心させ、盆踊りの輪に加わってはどうでしょう。又、地元の武蔵山一太鼓が雄大な自然の中にこだまします。子供から大人まで楽しめる催し物を盛りだくさん用意して皆さんをお越しをお待ちしています。



地元の人が白炭も販売(昨年の学者村朝市)

## 姫木平の朝市

姫木平の朝市は八月一日の日曜日から二十

二日の日曜日まで毎日午前九時から午前中に美し松入口前の広場に開かれます。地元産の朝採り野菜、くだもの、花、手工芸品(手づくり)など、年々品数も増えていきます。スーパーで買った野菜とは一味違った新鮮なうまみを味わって下さい。問い合わせ長門町観光協会TEL0268・69・2911

## 朝市に参加しませんか

学者村第三期城 敬子

八月十四日、朝八時朝市のうた(メロディーはアルプス二万尺で)一、緑の森に小鳥が鳴いて 涼風ふいて 朝がきた ヘイ!  
八月十四日、朝八時(かっこの中繰返し)三、心のこもった手づくりの品 出合の喜びいつまでもヘイ!  
地元の方や山荘住人で始めた朝市も大勢の方のご参加で賑わっております。昨年は学者村の歌が出来ました。今年朝市の歌も作り

## 今年も8月14日 新鮮な野菜や果物 たくさんのお手づくり品

と、地元の新鮮な野菜や果物それぞれおいしい物(みそ、おやき、ジャム、ジュース、アイスクリーム、野菜菜等)を紹介したいと思います。



山荘を建てるには、山肌をけずり美しい自然をこわします。そんな心の痛みのつぐないに、何か少しでも地元へお返しが出来たら

山荘を建てるには、山肌をけずり美しい自然をこわします。そんな心の痛みのつぐないに、何か少しでも地元へお返しが出来たら... 買う事も楽しい事です。朝市となつてほしいと願っています。今年も八月十四日(土)あさ八時より第三期管理棟広場で行います。ぜひおそいでお出かけ下さい。お待ちしております。連絡先 城・三期B二八 電話 03・33300・2585 東京 0268・68・2685 山荘

## 7月17日から9月26日 信州博覧会開催 “長門製”のドーム

内容盛り沢山、見どころ満載です。グローバルドーム【写真】は、直径百m、高さ四十五mと、国内産木材を使用したものとして日本一の施設で、しかもこの建設に当たっては斎藤木

材工業長門工場で作製された集成材フレームが使用されています。また、期間中毎日開催されるイベントは、博覧会入場券で見ることが出来ます。本博覧会は、長野県民総合参加の大イベントであり、日頃我が「長門町」を愛してくださる皆様方に、さらに「長野県」を知っていただける良い機会でもあると思っております。



当町から博覧会会場までは、三才山トンネルを抜けて塩尻市から行く方法があり、会場の南に八千台(21ha)の駐車場(有料)も設置されます。JRご利用の場合には、松本駅と塩尻駅から会場直行バスが運行されます。現在第二期前売入場券の販売を行っています。前売券は当日券に比べ一割以上お得になっており、東京・名古屋・大阪の各長野県事務所、JR東海・東日本及び主要旅行代理店にて販売されています。長門町役場でも扱っておりますので、別荘にお越しの折に気軽に立ち寄りください。

行事名	時期	場所	紹介先	由来・概要
鹿教湯のさら祭	25日	丸子町西内鹿教湯高梨諏訪大社	丸子町観光協会 TEL0268・42・3100	その年に氏子となる子供の持つ色とりどりの色紙がついたさらの行列。そして社殿で奉納される素朴な獅子舞
津金寺観音夏祭り	1日夜	立科山部津金寺	津金寺 TEL0267・56・1764	屋台などが並んでいる
岩谷観音堂のりんご祭	9日予定	丸子町御岳堂 岩谷観音堂	丸子町観光協会 TEL0268・42・3100	早生りんごの露店が並ぶ賑やかな岩谷観音の夏祭である。
白樺湖夏祭り	10日	白樺湖畔	白樺湖総合案内所 TEL0266・68・2848	白樺湖畔において花火大会(午後8時~午後9時10分)
白樺高原花火大会	11日	女神湖畔	立科町役場 商工観光課 TEL0267・56・2311	女神湖畔において花火大会(午後8時~午後9時10分)
村民村祭り	12~15日 予定	武石村上武石	武石村役場商工観光課 TEL0268・85・2311	村の一大祭りとして帰省客や、観光客も参加しての催事が多数ある。
8月 大山獅子	毎年第三日曜日	長門町長久保	長門町役場長久保財産区事務局TEL0268・68・3111	約四百年前、武田信玄の勢力地であった当時、松尾神社再建の際地固めの為、舞ったのが最初。以後人手不足で途絶えていたが平成元年から復活、一大祭りとなった。

近隣市町村 イベント情報

### ゴミ処理のお願い

#### 生ゴミは自家処理

##### コンポスト斡旋

ゴミ処理については、かねがね別荘だよりを通じてお願いしてきたところですが、この四月より、町の焼却場が全面廃止となった為、燃えるゴミは自家処理となりました。

缶、ビン類は、それぞれ分別し、買い物袋などへ入れずにバラで従来のゴミ置場へおいで下さい。

生ゴミは、穴を掘って捨てるか、コンポストを買って処理して下さい。



さい。ゴミ置き場へおくと、カラス、ためき等が散らかしてしまい、たいへん不衛生でこまります。

尚、燃えるゴミとはペットボトルなど、石油化学製品も含め、火のつく物すべてを言います。

焼却炉、コンポスト【写真】については、管理事務所であつせんします。燃やすのが不可能な場合は、お持ち帰り下さい。

長門の自然を愛し、別荘を求められた皆さんの場合は、守っていただいておりますが、一部の方々により守られていません。又、オーナー以外の友人、若者等に貸して利用される場合などに、生ゴミと缶と燃える物がまざって捨てられています。

マナーを守り、管理人の負担を軽減し、快適な別荘生活を送っていただきたいものです。(管理事務所より)

現在旅行中です。格安国際航空券の相場は毎週金曜日に日経新聞に報じられており、公に認知されているチケットで航空会社とのトラブルは全く有りません。

格安航空券を扱う大手の旅行会社とコンビューターネットワークで結ばれ、瞬時に空席状況が確認され、その場で仮予約が出来ます。チェックインがすみ搭乗

日本の国際化が進み、皆さんの親戚や友人が海外へ赴任されたり、海外旅行の機会も多くなると思います。今回は格安国際航空券の利用法について詳しく紹介しましょう。

先日、取引先先の社長さんと雑談中『シカゴにいる娘を訪ね、帰りはホノルルに寄り一週間程ゆっくりしてきます』という話題がでました。旅行社に依頼したのは航空券だけで費用は四十九、八万

### 学者村簡易水道、改良へ

#### 毎分六百リ、深井戸掘削に成功

学者村の水道施設は昭和47年に、長久保水道の一部として創設された。昭和53年に変更認可を得て、学者村簡易水道として現在に至っている。

しかし、当初の深井戸の能力が年々低下し取水可能量が三分の一



に落ちこんでしまい、五月の連休、お盆などには一時的に断水状態になったこともあり、いろいろ調査し対策をとってきたところである。そこで町では、学者村簡易水道施設整備基本計画(十一年)を樹

立し、改良整備を進めていくことにしました。今年度としては、一番の心臓部である深井戸の掘削をしたところ、幸いにして毎分六百リ余の水が出ました。今後水質検査等の手続きをすすめる利用していくこととします。



その他十一年で約十億の改修費をもって、本管布設替え、受水槽の増設等を実施していく計画です。

### 四季を通してふれあいの場に 森林リフレッシュへ

#### たかやまスキー場

長門町直営のブランドたかやまスキー場【写真上】を四季を通して自然とふれあいの場にーと長門町はこのほど、修景緑化事業に乗り出した。夏場は殺風景になるゲレンデにニッコウキスゲを植えるなど、数年後にはスキー場は「艶(つや)っぼい」エリアに変わるでしょう。

五月二十四日には、



同スキー場第二駐車場近くの国有林内で北沢町長、小池議長、上田営林署長らが集まり記念植林を行った【写真下】。

この事業の発端は上田営林署の県下初の「森林空間リフレッシュの森」計画にこたえたものです。

植える木は北白樺地区を代表するシラカンバやモミ、サクラ、キハダ、スモモなど自然と調和した樹種です。さらに野鳥の食餌木となるウメモドキ、ナナカマド、ガマズミを植えます。観賞木としては長門町花のミツバツツジやニッコウキスゲです。画期的な森林創造の事業といえるでしょう。

### 知っているとお得です

#### 格安航空券の利用法

遠藤 勇

券になれば、誰が正規運賃で誰が格安か分からず、むしろ格安で利用している事に痛快感を覚えるでしょう。

最近では業務出張用

つかみ、次回は自分の好きな国に、好きな時間帯だけ滞在し、好きなコースを回って帰国する、こんな海外旅行が今後主流になるでしょう。

滞在日数、帰国日など希望を伝えると、空席状況を調査し、フライングを設定してくれます。希望通り成

立すれば仮予約を入れます。購入の手順は、まず好きな航空会社を指定する、または安い順に聞き出し決めても良いでしょう。出発日、コース、

出発当日航空会社のカウンターで二時間前に申し込まれますが、どうしても事前手元に置きたければ宅配料三千円で送付されます。ここで格安航空券の予約について述べましょう。ノーマルチケット(正規運賃)は、航空会社が有るので確認するとい

由に出来ませんが、格安航空券は、正規運賃の1/3から1/5で購入できる反面、指定した航空会社で、かつ指定の便のみに有効です。出発後の変更は一切できません。従って申し込むときに十分検討し、決めたら決めた通りに行動することが条件です。但し、航空会社によってオープン(帰りの日時が自由に設定できる)チケットが有るので確認するとい

なお、記念植林の場所近くでレストハウスを建設するための起工式も行なった。

「わざわざ山形から、なんで」とよく言われますが、とにかく信州の自然・風土が好きで、山荘をもつてから二十一年目になりました。学者村が開設されたから間もなくのころですから、「草分け」の方だと思っています。「学者村祭り」をする広場のところに、その頃は、いま図書室になっている「山の家」はまだ無く、夏季に売店になる三角屋根の建物だけがあって、そこが、最初の管理事務所でした。家内と二人で初めて訪れたとき、初代管理主任の井出久邦さんが、一人ぼつねんと事務をとっていました。学者村は、長門町が役場の事業として運営・管理されているという安心感があった山荘を持つ決心をしたのでした。だいたい「学者村」という名称がよい。大いにアピールすべきです。

**山林有楽**

**山荘は心のささえ**

「わさわざ山形から、なんで」とよく言われますが、とにかく信州の自然・風土が好きで、山荘をもつてから二十一年目になりました。学者村が開設されたから間もなくのころですから、「草分け」の方だと思っています。「学者村祭り」をする広場のところに、その頃は、いま図書室になっている「山の家」はまだ無く、夏季に売店になる三角屋根の建物だけがあって、そこが、最初の管理事務所でした。家内と二人で初めて訪れたとき、初代管理主任の井出久邦さんが、一人ぼつねんと事務をとっていました。学者村は、長門町が役場の事業として運営・管理されているという安心感があった山荘を持つ決心をしたのでした。だいたい「学者村」という名称がよい。大いにアピールすべきです。

「わさわざ山形から、なんで」とよく言われますが、とにかく信州の自然・風土が好きで、山荘をもつてから二十一年目になりました。学者村が開設されたから間もなくのころですから、「草分け」の方だと思っています。「学者村祭り」をする広場のところに、その頃は、いま図書室になっている「山の家」はまだ無く、夏季に売店になる三角屋根の建物だけがあって、そこが、最初の管理事務所でした。家内と二人で初めて訪れたとき、初代管理主任の井出久邦さんが、一人ぼつねんと事務をとっていました。学者村は、長門町が役場の事業として運営・管理されているという安心感があった山荘を持つ決心をしたのでした。だいたい「学者村」という名称がよい。大いにアピールすべきです。

**山林有楽**

**山荘は心のささえ**

「わさわざ山形から、なんで」とよく言われますが、とにかく信州の自然・風土が好きで、山荘をもつてから二十一年目になりました。学者村が開設されたから間もなくのころですから、「草分け」の方だと思っています。「学者村祭り」をする広場のところに、その頃は、いま図書室になっている「山の家」はまだ無く、夏季に売店になる三角屋根の建物だけがあって、そこが、最初の管理事務所でした。家内と二人で初めて訪れたとき、初代管理主任の井出久邦さんが、一人ぼつねんと事務をとっていました。学者村は、長門町が役場の事業として運営・管理されているという安心感があった山荘を持つ決心をしたのでした。だいたい「学者村」という名称がよい。大いにアピールすべきです。

大門窪城の「原始・古代ロマン体験館」といって、可能だろわか「そんな不安を持ちながらのスタートですが、その、いわば冒険にも似た事業も、来担当者自身も、「果たして、可能だろうか」そんな不安を持ちながらのスタートですが、その、いわば冒険にも似た事業も、来



館者の皆様 器、太陽の光にキラリときらめく黒曜石。遺跡から出土した土器や石器を目の前にしたとき、その作品の背景にある時の流れや、重みのある美しさに感動を覚えたという方も少なくありません。この頃です。さて、そんな体験館か

**「縄文グルメはいかがですか」**

原始・古代ロマン体験館より 大竹 幸恵

「原始・古代ロマン体験館より 大竹 幸恵」  
 体験館では、毎月、第二土曜日にかけて土器の野焼きを実施する予定です。昨年、その前に縄文鍋を作りまして。例えば、夏に作品を作って、秋にこのを背負って野焼きに参加、などというのも良いかもしれません。また、黒曜石のナイフを作って、お肉を切って、火は、野焼きから十分にわけて貰えます。」「自分の作品で縄文バーベキュー」。今年も、こんなグルメな参加の仕方がないか、計画を立ててみて下さい。応援いたします。

昭和四十八年三月六日、変化を求め意気揚々とひとり旅を決意。しかし心の隅から淋しさが徐々に顔を出す。通勤ラッシュの電車の中、私ひとり異なる乗客。私もあと二十日余りでこのネクタイ姿の大衆のひとりとなる身。

順法(違法)闘争の為列車時間かなりの変更があり、九時半にやっと東京駅を乗換え伊東で電車乗り換え城ヶ崎に着く。駅は新しい別荘地内のシャレット建物。最初のコース、ピクニカルコースを見つけての、一苦勞。別荘地内をグルグルと迷い五十分、ようやくスタート地点の私の海岸公園まで全長三キロの道を四十分で歩き、公

園前で七十円の缶コーヒーを飲み一息入れが満開。入園料のをやく連着寺へ向かう。石段の脇の早咲きのサクラのトンネルをくぐり抜け満足し、ここから始まる自然研究路に入る。

入口付近の浜で近所のおばさん達がフキを採っていたのを見、私も一かじり。道は海岸線に沿って進み、反対側は切り立った崖壁、海にはいつも大島がこちらを見つめていてくれる。日も暮れかけた頃コース終着の八幡野に着いた。

**念願の別荘が完成**

3期D77号 下里 信江

「わさわざ山形から、なんで」とよく言われますが、とにかく信州の自然・風土が好きで、山荘をもつてから二十一年目になりました。学者村が開設されたから間もなくのころですから、「草分け」の方だと思っています。「学者村祭り」をする広場のところに、その頃は、いま図書室になっている「山の家」はまだ無く、夏季に売店になる三角屋根の建物だけがあって、そこが、最初の管理事務所でした。家内と二人で初めて訪れたとき、初代管理主任の井出久邦さんが、一人ぼつねんと事務をとっていました。学者村は、長門町が役場の事業として運営・管理されているという安心感があった山荘を持つ決心をしたのでした。だいたい「学者村」という名称がよい。大いにアピールすべきです。

**「旅日記」伊豆のひとり旅**

依田 健

第一日目の宿、大川ユースホステルでの今晩のホステラーは、私を含め三人。夕食でのご飯のおかわりが出来なかつた。事が少々不満。そして、宿泊料金を見てビックリ、今年より料金改正のあった事を知る。一泊九百円、もともと金のないひとり旅、少々先々不安となる。

三月七日 今日いよいよ天城山、昨晩いっしょであったユースの友に車で登山口まで送ってもらう。山道にはまだ雪が残っているが、道がわかに

トンネルに入る。真暗なトンネルの中で女性の笑う声を聞く。しかし姿は見えぬ。空腹でついに幻聴かと思いつつトンネルを出る。これが伊豆の踊り子の舞台かと気付くが、ガクガクの足とベコベコの腹を抱えている。小説の風情に浸る余裕なく、新道に出ようと足早める。十分程歩いた所で先程の笑い声の主らしき若い二人連の女性を発見。足早に追いつき第一声「こんにちは、あの食べるものはいかな、僕今日みかん二個なんだ。」驚きもせずお菓子とおむすびを出してくれて、何日も人と話をしたいなかつた様な気がし、とてもうれしかつた。

信濃の国、

立科町と古町とをむすぶ大内道の峠近くに、なだらかな坂道があります。その道の脇の山桜の下に一体のお地蔵さんが、やさしいほほえみをたたえ、いつも静かに立っていました。

行きかう旅人や村人たちは、手を合わせ深々とおじぎをし、また旅人の中には巾着から小銭を取り出し、お供えして行く人もあるなか

# 切り地蔵さん

3期 城敬子さんの「とんと昔の大内道」より

で、ときどきそのお地蔵さんの前を走ってから抜け、お地蔵さんを見ないようにしている人がいます。それをみたある旅人が、ちょうど近くの田のおいで一服しているおじいさんに、「ちょっと、おたずねしますが、なぜあの方は、お地蔵さんの前を走って通るのですか」とたずねました。「ああ、あなたのお地蔵さんですか。あれは縁

で、おみねさんをひどくいつくしんでいましてが、一つ悪い癖がありました。おみねさんに意図して伝蔵さんに意見しても、やめることができませんで、とうとうおみねさんは大きな腹をかかえて、この坂道を毎日毎日登って来て、一心にお地蔵さんに手を合わせていたそうじゃ。「どうぞ、伝蔵さんから博打の縁を切ってください……。」と。



ところが、いくらたっても伝蔵の博打の癖は直らないもんで、とうとう「それなら二人の縁を切ってください。私は里へ帰り赤を生みそのまますまもつ伝蔵さんの家には帰らないことにします。」とおみねはお地蔵さんにお祈りするようになったそうじゃ。白い霧が立ちこめ、小雨もようのあつた日、いつものように手を合わせている

「おみねの熱心な祈りは見あげたものだが、この願い聞くわけにはいかぬ。いつの日か伝蔵は博打との縁を切るであろう。二人の縁はしっかりと結ばれているから切るわけにはいかぬ。しかし今後、困った縁があったら切

るようにならなければならないよ。」お地蔵さんが口をきかれたもので、驚いたものの、信心深いおみねはお地蔵さんに従って、それ以後、縁切りのごときは忘れるようにしたそうじゃ。おみねに赤が生まれる日が近づいてきたというのに、伝蔵は相変わらず博打をこっそり隠れてやっている。博打に関する村の定めはいくつもありや

この他に「たたき」を申しつけるとか、葬式道具の天がいや童頭などを違反者の家の入口にかけておくとおみねは悪口を聞きおみねは暗い毎日だったそうじゃ。とうとう、おみねに陣痛が始まりました。苦しみが続きま

## 博打と縁を切った伝蔵

ねさんはもう駄目かも知れない。生まれ赤の乳母を早く探さなければ」と取り上げ婆さんは心配顔。そのときで伝蔵は急に立ち上がり、外に飛び出し、大内道を駆け上がり、縁切り地蔵さんへ急ぎました。「お地蔵さん、お地蔵さん、お地蔵さん、おみねの命を助けて下さい。おみねと死神の縁を切ってください。おみねはおいしそくに伝蔵の手からお粥をいぐさじも食べました。そして、日に日にもとの元気を取り戻し、赤の乳も出はじめました。伝蔵はそれ以後、博打との縁をばったり切ってしまったそうじゃとおみねは話を終え、またばこに火をつけました。

縁切り地蔵さんは、別名いぼとり地蔵さんともいわれ、いぼができた人は、お地蔵さんに供えてある石を持って帰り、いぼをこすったそうじゃ。いぼがとれると、そのお札に二倍の石を供えたそうじゃ。この話のお地蔵さんは、学者村三期方面から一期へ入る道の左側に今でもあります【写真】。

た。一心に祈りをささげた伝蔵はまた駆け足で急いで家に帰り、おみねのそばに行きました。すると、どうしたことでしよう。口もきけず死んだようになっているおみねが、かすかに目を開け伝蔵を見つめているではありませんか。伝蔵はそっとお粥を口にもっていきました。おみねはおいしそくに伝蔵の手からお粥をいぐさじも食べました。そして、日に日にもとの元気を取り戻し、赤の乳も出はじめました。伝蔵はそれ以後、博打との縁をばったり切ってしまったそうじゃとおみねは話を終え、またばこに火をつけました。



豊受神社の注連懸木

## 伝統誇る正遷宮 長門町古町の豊受神社

10月17日 伊勢神宮と同じ20年に一度



御神体を一時、移す下遷宮

正遷宮に先立って四月二十九日には、本殿を取り壊すため、御神体を近くの社務所に移す下遷宮祭(げせんぐうさい)を開いた。午後九時、古町地区の全戸の明かりが消され、真っ暗やみの中、北沢町長、童野八郎実行委員長らを先頭に本殿から御神体をしめやかに移した。十月十七日のお練りは山車(だし)、有坂大山両獅子、民謡流し、太鼓、宝物行列、稚児行列、子供や女みこしなど七百〜八百人の二百五十〜三百mの長い列になる見込みだ。正遷宮が二十年に一度行う理由について、素木(しらき)造りの新殿は尊厳や美しさを保つには二十年が最もふさわしく、技術を伝承するためにも合理的な年数だとされている。後世に伝えたい伝統行事の一つになっている。



◆はじめまして、坂田真二です。今年の四月、新規採用で企業課開発係に配属されました。生年月日は昭和四十九年六月二日、趣味は、釣りやバイクに乗ったりすることです。物覚えが少し悪いので、ご迷惑をかけるかもしれません。よろしくお願いします。

編集後記 三月末、上信越自動車道の佐久インター(佐久市)が開通、首都圏から別荘までの距離はグンと短くなりました。1998年の長野冬季五輪までには高速交通網はさらに進むでしょう。軽井沢の別荘は別荘を自宅に替える人が増えてきています。長門町の別荘は別荘としての風格がさらに強まるでしょう。